

(陳受21第10号)

武蔵境地域におけるムーバスの路線検討に関する陳情

受理年月日

平成21年12月16日

陳情者

境1-21-8
秋本 正 ほか2名

陳情の要旨

武蔵野市が全国に先駆けて実施したムーバスは、平成7年に1号路線が運行開始され、現在では7系統9路線が整備され、交通不便地域の解消、市民の身近な足として、その役割を果たしているものと思います。

私たちの住んでいる武蔵境駅周辺は、JR中央線の踏み切りにより南北交通が分断されていたため、ムーバス路線もJR中央線を境に南と北に分かれています。

市の第四期長期計画・調整計画に、「上り線の高架化により、武蔵境のまちは南北一体化による新たな時代に入る」と記載されています。南北一体化の基礎となる地域間の交流は、「人の動き」が重要と考えています。そこで市民の身近な足として定着しているムーバスが、南北を循環することで「人の動き」を手助けし、地域間の交流が進むと思います。また、境地域から武蔵野赤十字病院に行く場合も、乗り換えなしで行くことができる路線があれば、市民の利便性は向上するものと思われます。

12月6日にJR中央線上り線が高架化され、踏切による南北の交通分断が解消されました。今後は、駅舎工事や側道などの周辺整備が行われるようですが、このような状況を踏まえ、この機会に境地域と境南町地域を結ぶムーバス南北循環路線の検討が必要と考えます。

以上の趣旨から下記のことを陳情いたします。

記

境地域と境南町地域を結ぶムーバス南北循環路線の検討を行うこと。